

輝く**太陽**が、いっぱい**友達**が、
子どもたちを育てる**土と水**が、
本物相手の**生き物**が、

子どもたちをかんばらせる**山や川**が、
はつらつ**男先生**、あったか**女先生**が

子ども達を待っています



◇◇◇**本物体験で「生きる力」を!!**

何も無い所～自然～だからこそ発揮される創意工夫や創造性。五感をフルに活用させ様々な刺激を与え続けながら自然や人との触れ合いの中、自ら「考え」「判断」し「行動する」能力～生きる力～が育っていきます。

子どもならつい入りたくなる夏の川。でも実はそこには思いがけない危険も背中合わせです。見た目以上に強い「流れ」や突然現れる「深み」、そして「すべる石」、雨上がりは「水量」も多い。等々…。これらの危険事象は言葉では伝えられても実際に体験してみないと実感できない事。子どもが「物事を判断する上での最高の“材料”は何といっても**「経験」と「実体験」**。これらを基に判断された行動は裏づけがあるだけに自信に満ち溢れ堂々としたものですね。残念ながら現代っ子の判断の源は、そのほとんどが大人の（親の？）鶴の三声＝「アナイ!」、**「キタナイ!」**、「ヤメサナイ!」、のようです…。

スタンプでは大自然の中チャレンジ精神をくすぶり、様々な自然体験、本物体験で、子ども達をのびのびでつかく生気に満ちた子に育てていきたいと考えています。

ふろーふろー大自然も 育ち盛り!の子どもたちに

子どもに

太陽・土・水・緑の大自然を



元気なサビちゃん大募集!!

新会員募集

募集要項
●対象年齢 新2才児～ 2才児 80名
●募集人員 新年少・年中児 若干名
2016年度 平成28年度

※他クラスも若干名募集中。お問い合わせ下さい。

スタンプ見学会

見学会におこしいただいた方には
平成28年度スタンプレコリットを
お渡しします。

●日時 9月15日(火)
●時間 10:30～11:30
●集合 牧野ヶ池緑地

国立東名古園病院近く
緑森坂側児童広場

●雨天時 9月16日(水)に延期
※見学会に参加出来ない方はご連絡下さい。

ゲーム機、パソコン、TV、スマートフォン…人工物はほとんどの子どもの思い通りになるものばかり。相手になってくれる反応、手応えがなく、温かいぬくもりもない。

いさいきした刺激、ときにはぶつかりあい逆らいあい、戦いあう相手。それは子ども同士であり、自然の中に生きる生き物である。

「子ども同士」、これこそ本物の人間に育てる最重要の環境。社会性をつくるだけでなく感情豊かな人間性をばぐくみます。バツタを追って、走り回る子、やっと捕まえて歓声を上げる子、「ワタシモホシイ」とねだる子。初めてサリガニを捕まえてハサミにはさまれビツクリする子。脱皮すると体がやわらかいこと、オスの方がハサミが大きいこと、たっぷり触れた後は「かわいそうね、にがそうよ」。

魚の手づかみ、カタツムリとり…。かんばって、かんばって、やっと獲得できたときの喜び。「ちよつと怖そ～」と入るのをいやがる岩崎川。雨降り後の山はドロドロ遊びの好適地。泣きながらドロドロに慣れ、挑戦していく。
自然はさまざま刺激を子どもたちに与え続けてくれる。



いさいき、のびのび、ごっかい子に

2才から5才児のための
野外・自然教室
子どもに 太陽・土・水・緑の
大自然を!!

スタンプ

スタンプ

TEL.802-3755 FAX.805-9256

検索



에



A young boy with a wide, joyful smile, his face and clothing covered in mud. He is wearing a blue shirt and a green headband with a yellow flower. The background is a blurred outdoor setting.

本物体験の「生」が力だ!!

子どもたちの自然遊び

太陽・土・水・緑の大自然を
子どもに

子どもに

太陽・土・木・緑の大自然を



元氣な子どちゃん大募集！

新金員募集

集項

●対象年齢 新2才児～
●募集人員 2才児 80名
新年少・年中児 若

2016年度
平成28年度

※他クラスも若干名募集中。お問い合わせ下さい。

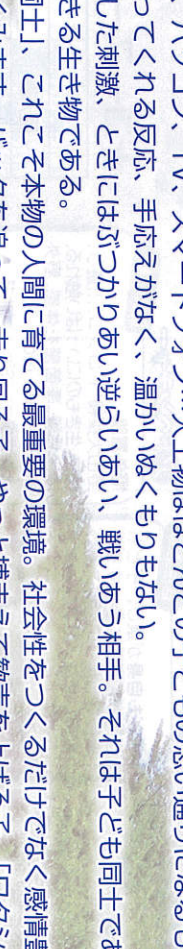
ペンキ見参

見学会におこしいただいた方には
平成28年度スツツパピネットを
お渡します。

●日時 9月15日(火)
●時間 10:30~11:30
●集合 牧野ヶ池緑地

●雨天時 9月16日(水)に延期

※見学会に参加出来ない方はご連絡下さい。



ゲーム機、パソコン、TV、スマートフォン…人工物はほとんどの子どもの思い通りになるものばかり。相手になってくれる反応、手応えがなく、温かいぬくもりもない。いきいきとした刺激、ときにはぶつかりあい逆らいあい、戦いあう相手。それは子ども同士であり、自然の中に生きる生き物である。

「子ども同士」、これこそ本物の人間に育てる最も重要な環境。社会性をつくるだけでなく感情豊かな人間性をはぐくみます。バツタを追って、走り回る子、やっと捕まえて歓声を上げる子、「ワタシモホシイ」とねだる子。初めてザリガニを捕まえてハサミにはさまれビツクリする子。脱皮すると体がやわらかいこと、オスの方がハサミが大きいこと、たつぷり触れた後は「かわいそうね、にがそうよ」。

魚の手づかみ、カタツムリとり…。がんばって、がんばって、やっと獲得できたときの喜び。「ちよつと怖そ～」と入るのをいやがる岩崎川。雨降り後の山はドロドロ遊びの好適地、泣きながらドロドロに慣れ、挑戦していく。

自然はさまざま刺激を子どもたちに与え続けてくれる。

いきいき、のびのび、でっかい子に
2才から5才児のための **子ども**

野外・自然教室

子どもに
太陽・土・水・みどりの
大自然を!!

しん

スタンプ

TEL. 802-3755 FAX. 805-9256

檢索



